

## 吹上小学校学校の通学区域の変更に関する意見交換会

令和3年11月7日（日）  
9時30分から10時35分  
吹上小学校学校体育館にて

## ① 参加者（世帯）数

62世帯（北新宿地区／在校生）

## ② 出席者

齊藤教育部長 大島教育部参与 宮野教育部副部長 鳥沢教育総務課長  
教育総務課 新井・堀 学務課 石井・梶谷

## ③ 以下、質疑応答内容

保護者	万がースクールバスが運行されなかった場合、下忍小学校まで徒歩で通学するとなると17号を横断、通行することとなるなど、危険な場所も多いが、通学路のモデルコースについての案があるのか。
教育委員会	現実的に通学距離が市内の他の地域に比べて遠距離となるため、スクールバス導入が前提となることから、徒歩での通学は現在のところ考えていない。
保護者	資料2の地図を見るだけでは、距離的に筑波地区のほうが下忍小学校に近いのではないか。
教育委員会	学区については距離が近いことも要件の一つであるが、通学路の安全性や自治会などの地域性等についても考慮されるべきと考えている。 北新宿地区に関しては、洲崎橋を通る通学路が課題である。 スクールバスを導入することで安全性への配慮や、資料1に示した、大規模校化を回避すること、中学校への進学先が別れることがなくなるなど他の課題も解決できると考えている。
保護者	スクールバスを出してくれるのはありがたいが、登下校で歩くことがなくなることで子どもの体力低下が心配である。どう考えているか。
教育委員会	バスの乗降場所までは歩いて来てもらうことになる。 各家庭により通学距離は異なることから、教育の観点から、体力については、徒歩通

	<p>学ではなく、体育の授業等により培われるものと考えている。</p>
保護者	<p>スクールバスの乗り場は1か所だけなのか。全員が同じ時間にそこに集まって乗るのか。学年によって帰宅時間が異なると思うが、どう考えているのか。</p>
教育委員会	<p>バス乗り場については、例えば北新宿生涯学習センターなど、まだ案の段階である。時間については、学年ごとに合わせたいと考えている。スクールバス導入が決定した際には、乗降場所等を含めて、改めて意見を聞くことになる。</p> <p>放課後児童クラブを利用する児童の下校については、他の地域と同様に、保護者の送迎と考えている。</p>
保護者	<p>北新宿地区の児童生徒が吹上北中学校ではなく吹上中学校に通学することは考えていないのか。</p>
教育委員会	<p>仮に北新宿地区が吹上中学校に行くとなると、課題にもあるように中学への進学先が別れないようにするためには、吹上小学校から吹上中学校ということになる。その場合、洲崎橋の問題が解決できない。これら様々な課題を勘案すると、下忍小学校から吹上北中学校への進学が最善かと考えている。</p>
保護者	<p>現在の通学路を変えて洲崎橋を渡らない経路とすることは考えていなかったのか。洲崎橋については、橋の架け替え工事はできないのか。</p>
教育委員会	<p>通学路の見直しや交通規制、橋の架け替えなどは以前から要望や検討を重ねていたが実現に至っていない。教育委員会としてできることを考えた結果が学区の変更といった対応となっている。</p>
保護者	<p>北新宿地区は子どもの数が増え続けているが、仮に下忍小学校に学区変更があった場合、下忍小学校の児童数が増えすぎてしまうのではないか。</p>
教育委員会	<p>現在、令和9年度までの児童数の見込みが出ている中では、下忍小学校については、減少傾向にあるため、推移からすると受け入れが可能であると考えている。</p> <p>学区の変更後、例えば経過措置期間を設けた場合、北新宿地区の全員が一斉に下忍小学校に転校となることはない考える。</p>

保護者	学区を変更するという前提なのか。意見を踏まえて変更しないこともあるのか。
教育委員会	前提としては、資料１で示した課題を解決するためにも、教育委員会としては学区変更をする方向で考えているが、決定するためには審議会等での審議が必要であることから、教育委員会だけでなく外部有識者等からの意見を踏まえて検討を進める。
保護者	笠原小学校の統廃合に関する議事録を見たが、当初は閉校しないと言っていたのに閉校になった。どうして変わったのか。教育委員会が強引に決めたのか。
教育委員会	<p>変わったわけではない。笠原小学校については、保護者と保護者以外の地域の方々の意見に隔たりがあったと感じている。鴻巣中央小学校との統合に賛成・反対と両方の意見があったことに加えて、様々な情報が地域に飛び交っていたことから、地域の方々も影響を受けたのではないかと考える。</p> <p>「市長が閉校しないと言った」などの情報が発信されていたが、発言の一部を切り取ったものであり、それが原因で多くの方が誤解を与えられていたと考えている。</p> <p>統廃合に賛成・反対を含めて、様々な意見がある中で、教育委員会としては、特に、子どもたちを実際に学校に通わせている保護者の意見を重視することとしたため鴻巣中央小学校との統合に方向性を定めた。強引に決めたわけではない。</p>
保護者	現在、幼稚園や保育園に通っている子どもなど、未就学児もいると思うが、その保護者へはこの件についてどう連絡するのか。
教育委員会	未就学児保護者向けの意見交換会はこの次の回で行う。
保護者	資料１課題の中で児童数が減少している学校の中で、大芦小学校の記載がないのはなぜか。以前、吹上富士見地区の子は学区が大芦小学校に変更されるという話もあったが、どうなったのか。
教育委員会	<p>児童数の減少幅が大きい上位３校を例として記載している。市内のほとんどの学校は児童数が減少している。</p> <p>以前そのような話があったが、現在は議論が止まっている。今後は改めて、吹上地域全体として検討していく考えである。</p>
保護者	北新宿地区の児童が吹上小学校のままでも良いという議論にもなってくるのではないか。

教育委員会	<p>それもあり得ない話ではないが、現時点で、北新宿地区については、洲崎橋を通る通学の安全性や、吹上小学校の教室数が不足してくることなど複数の課題があるため、それら全てに何らかの対応をしていかななくてはと考えていることから現在の案を示している。</p>
保護者	<p>通学路の安全を第一に考えるなら、吹上小学校から北新宿地区へスクールバスを出せばいいのではないか。</p>
教育委員会	<p>笠原小学校は現在スクールバスを導入しているが、どこの小学校にもスクールバスを導入できるというわけではない。</p> <p>過去の審議会での答申内容を踏まえた基準として、笠原小学校では現在、学校から直線距離で2kmを超える家庭がバスの対象となっている。</p> <p>吹上小学校から北新宿地区については、この直線距離2kmを超えないため、その対象にはならない。</p> <p>他の地域との均衡から、吹上小学校だけにスクールバスを出すことはできないが、学区変更により下忍小学校になった場合は、直線距離2kmの基準を超えてしまうため、現実的にスクールバスを導入せざるを得ないとする。</p>
保護者	<p>下忍小学校に行くことになった場合、直線距離2kmを超えない児童については北新宿地区であってもスクールバスの対象とならないのか。</p>
教育委員会	<p>笠原小学校を例にすると、各家庭から集合場所までと学校までの距離を比較した上で、集合場所に近い場合はスクールバスの対象としている。</p> <p>北新宿地区におけるスクールバスの対象に関しても守るべき基準を踏まえた上で、柔軟に対応していきたいと考えている。</p>
保護者	<p>そうするとバスに乗れる条件について、今後検討していくのか。</p>
教育委員会	<p>どこを集合場所にしても、集合場所と学校までの距離を比較して、集合場所の方が近距離になることが想定されることから、スクールバスでの通学を前提として検討を進めたい。</p>
保護者	<p>経過措置が終了してしまった後、年の離れた兄弟がいる子は上の子と違う学校に行くことになるのか。</p>
教育委員会	<p>他の地域でも対応しているが、兄弟姉妹がいる児童生徒については、経過措置の期間にかかわらず、上の子と同じ学校に通えるように対応していきたいと考えている。</p>

保護者	北新宿地区の子は今後も増えていくと思うが、学区変更ではなく選択制にはならないのか。
教育委員会	市では今までも何度か議論がされてきているが、選択制は考えていない。北新宿地区のみ選択制にしてしまうと、ほかの地域にも影響があると考えられており、課題はさらに増えてしまう。
保護者	今後北新宿地区の子どもの数がどのくらい増えるのか、試算しての話なのか。
教育委員会	<p>現時点では令和9年度までの児童数の見込みは出ている。</p> <p>吹上小学校に関しては、令和6年度には18学級から大規模校である19学級になることが予想されている。</p> <p>下忍小学校に関しては、学級数の減少が見込まれていることもあり、学区変更により、両校ともに適正規模校となる想定での提案である。</p>
保護者	<p>令和5年度が最短であると話していたが、その前に今後のスケジュールについては知らせてほしい。</p> <p>学区変更が決定になり転校することになった場合、体操服などが変わると思うが、援助はあるのか。</p>
教育委員会	<p>学区変更については、教育委員会だけでなく有識者も含めた通学区域審議会にかけると必要がある。承認された場合、保護者への意見交換会や説明会等を行う。</p> <p>スクールバス導入となると予算について議会にかけると必要もある。また、就学前健診や入学説明会なども含めて考えると、現実的には最速でも令和5年度になると考えられる。</p> <p>スケジュールが示せる段階になったら、随時お知らせしたい。</p> <p>スクールバス等についても同様であるが、予算措置が必要な場合については、定例教育委員会や議会等で承認をいただかなくてはいけないため、明言は出来ないが、体操服援助については検討していく。</p>
保護者	下忍小学校が指定校となったとして、経過措置期間に吹上小学校に通っていた場合、進学先として吹上中学校に通うことは可能か。

教育委員会	それは認められない。本来の指定校への進学となるため、吹上北中学校に通ってもらうことになる。教育委員会としては、中学校区を基本に考えていることから、吹上小学校から吹上中学校、下忍小学校から吹上北中学校の連携で検討していく考えである。
保護者	意見交換会はこれで終了か。賛成・反対の決は取らないのか。次回はあるのか。
教育委員会	今回は意見交換会の場であり、決をとるような場ではない。皆様からいただいた意見を整理して、教育委員会としての方針を固めながら、また、このような意見交換といった形をとるのか等を含めて、検討したいと考えている。
終了後	
保護者	転校が決まれば、北新宿地区の保護者が吹上小学校でPTAをやらなくなるのではないかと。吹上小学校でPTAをやった場合は、下忍小学校ではやらなくてもよいことにしてほしい。
教育委員会	学校ごとに対応が異なるため、一概には言えないが、ご意見としていただいておく。
保護者	吹上小学校から吹上中学校への進学も検討してほしい。
教育委員会	<p>北新宿地区の中学校区を吹上北中学校から吹上中学校に変更した場合、そもそも洲崎橋の安全性に関する議論と外れてしまうことから、教育委員会としては様々な課題への対応策として、一貫性を持たせたいので、吹上小学校から吹上中学校への進学は考えていない。</p> <p>あくまでも現状の中学校区を活かしつつ、課題へ対応していく方針である。</p>

## 吹上小学校の通学区域の変更に関する意見交換会

令和3年11月7日（日）  
11時00分から11時45分  
吹上小学校体育館にて

### ① 参加者（世帯）数

41世帯（北新宿地区／未就学児）

### ② 出席者

齊藤教育部長 大島教育部参与 宮野教育部副部長 鳥沢教育総務課長  
教育総務課 新井・堀 学務課 石井・梶谷

### ③ 以下、質疑応答内容

保護者	通学路として洲崎橋を通らず、榛名陸橋で通うというのは案として出たのか。
教育委員会	<p>これまでも通学路の変更については検討をしてきた。榛名陸橋についても、歩道の部分が狭い、また傘をさすと車の風圧で飛ぶといった危ない状況である。洲崎橋の架け替えや交通規制なども要望を出していたが難しい状況であった。</p> <p>教育委員会として、小中の接続や通学の安全性等、様々な課題の解決に向けての下忍小学校学区への見直しである。</p>
保護者	スクールバスについて、小学生全員を対象としているのか。また北新宿地区、新宿あたりも住宅が増え、お子さんも増えているところだが、新しく小学校が1つ出来るということは検討されていないのか。
教育委員会	<p>スクールバスの対象については、現在の案としては学年問わず全員を対象と考えている。乗降場所なども皆さんからのご意見を伺いながら検討していきたい。</p> <p>小学校の新設については、考えていない。一時の住宅供給に伴う人口増で学校を新設するというのは、全国的にも、人口減少している中で、公共施設を増やしていくということはない。</p>
保護者	先ほど直線距離で2kmという話がでたが、スクールバスの導入となった場合、距離で考えているのか、北新宿地区全体を対象として考えているのか。
教育委員会	直線距離で2kmと先ほど申し上げたが、そもそも直線距離2kmというのは旧鴻巣の時代に地域全体の学区、統廃合の見直しを行った際に、直線距離2kmを超える対象地域

についてはスクールバス等を検討するということが課題として残っていた。笠原小学校がスクールバスを導入しているが、直線距離2kmという基準は活かしている。

学校までの距離、集合場所までの距離を比較し、集合場所までの距離があまりにも近いのに2km圏内なので対象外というのは柔軟性に欠けるのではないかと考えた結果、直線距離2km以内であっても集合場所の方が近ければ対象というのを前提に検討した。

北新宿地区については、下忍小学校を対象としてスクールバスを導入すると考えたときに北新宿のどこの地域にお住まいであっても、集合場所までの距離が近くなると思うので現実的には全体が対象になると考えている。

保護者	早くて令和5年度からの移行で、選択できるようにするという話だったが、年が離れている場合、兄弟で別々の学校に通うことになるのか。
教育委員会	兄弟のいる家庭については、上の子と同じ学校に通うという選択も可能になる。これはこの地域に限らず、過去の学区変更においても同じ状況である。市としての指定校は下忍小学校であるが、兄弟の関係で吹上小学校から吹上北中学校という経過措置も設ける予定である。
保護者	小学校から同じ中学校にという話だが、北新宿地区が吹上小学校から吹上中学校にという検討はされなかったのか。
教育委員会	<p>選択肢としてはあるが、吹上小学校であれば吹上中学校学校に、下忍小学校であれば吹上北中学校にと考えると下忍小学校から吹上中学校にというのは考えられないかと思う。</p> <p>そうすると吹上小学校、吹上中学校という流れになると思うが、洲崎橋を通る通学路の安全性がネックになってくる。先ほどの5つの課題をすべて解決する方法として、北新宿地区については下忍小学校と吹上北中学校という、小学区の変更が最善と考えている。</p>
保護者	下忍小学校へ行く理由というのが、洲崎橋の理由一本のような気がする。下忍小学校ありきで、理由として洲崎橋と言っているように聞こえる。
教育委員会	理由の一つではある。ただ、資料1にもあるように、他にも35人学級の導入等による教室数の不足、19学級以上の大規模校化、小中の接続といった問題もあり、このままであると、それらの課題が解決されずに残るところで、最善を考えての提案である。結果が下忍小学校ということだが、下忍小学校ありきで考えていたわけではない。
保護者	令和5年以降となると、在校生は転校ということになるので、吹上小学校を選択する子に関しては引き続き洲崎橋を通る必要があるが、安全面についてはそのままなのか。
教育委員会	洲崎橋の安全性については、長年議論がされており、地域の方々、保護者からも要望書を



あげていただき、市長名で出しても要望が通らない状態である。現在は地域、保護者の皆さんに見守りいただきながら、登校いただいている。あまりにも人数が多いことから、特に雨の日には洲崎橋から踏切まで傘がずらっと並ぶような難しい状況である。

ご質問の吹上小学校を選択した場合については、引き続き地域の皆さんに見守っていただくことになるかと思う。

現在でも、1年中ほぼ毎日見守りを行い、疲弊しているというお声もいただいている。

スクールガードリーダーなど学校と地域での見守りは継続的に必要であると思うが、学区変更により絶対数が変わってくるので、数の部分で多少危険度が下がるのではないかと考えている。

保護者	下忍小学校の現在の学級数と、下忍小学校に行くと子どもの数が増え、学級数が増えると思うが、12～18 学級の規模が保てるのか。
教育委員会	下忍小学校は現在 14 学級。変更案については、令和 9 年度までの推移をふまえて提案をしている。吹上小学校については令和 9 年度には 600 人を超え、19 学級の見込であるが、下忍小学校については令和 9 年度には 370 人くらいで、80 人くらい減ってくる推移となっている。下忍小学校に限らず、市内どこの学校も減っている状況であるが、推移をみた上である程度適正規模が保てるであろうということで提案している。
保護者	あと、施設の老朽化というのは具体的にどこを指しているのか。
教育委員会	施設の老朽化については、吹上小学校や下忍小学校だけでなく市内全体をみている。小中合わせて 27 校あるが、学校というのは規模が大きいので、少し直すだけでも莫大な費用になってしまう。そういった施設面もふまえ、子どもの数があまりにも減ってきているので、同じような学級規模で、適正規模、適正配置というのを検討しているところである。
保護者	スクールバスについて、笠原小学校について現在は朝だけと聞いていて、帰りは鴻巣中央小学校まで保護者が迎えに行くと言っている。北新宿地区にスクールバスが出るとなった場合、帰りもバスが出るのか、笠原小学校と同様に下忍小学校まで迎えに行くのか聞きたい。
教育委員会	<p>現在の笠原小学校についてだが、笠原小学校学校がある中、それでも鴻巣中央小学校を希望して通っている状態である。指定校は笠原小学校学校であるという前提の中で、鴻巣中央小学校を希望する場合は、通学区域の弾力化の部分で対応しているところである。そのため保護者の送迎をお願いしているところだが、どうしてもバスをお願いしたいという要望があったため、朝だけということで予算をとって対応している。</p> <p>来年度については指定校が鴻巣中央小学校になるので、その時には通学距離が2km を超えてしまうということで、バスで送迎を行うということになる。ただ放課後児童クラブを利用して</p>

	<p>いる場合は、他の地域と同様に、保護者がクラブへ迎えに行くことになる。</p> <p>学年によって下校時間が異なるが、案としては下校時間に合わせたバスの運用を考えている。</p>
保護者	<p>北新宿の通学区域が変わるのが令和5年度ということだったが、具体的に方向性が固まるのはいつくらいになるのか。</p>
教育委員会	<p>通学区域を変更するということは、教育委員会だけで決めるものではない。外部の方を招いて通学区域の審議会にて議論してもらい、定例の教育委員会で承認を得て、議会で報告等の流れになる。来年の春先には、だいたいの方針が決定してくる。</p>
保護者	<p>先ほど外部の機関等を通すという話だったが、投票ではないが、私たち保護者の意見を取り入れてもらう場はあるか。</p>
教育委員会	<p>こういった意見交換会という形でお話を伺うということ、この後意見交換会での意見をホームページ等で公開し、欠席された方への周知、共有していきたい。その際に、追加の意見を電話なりメールなりいただければと考えている。</p> <p>その後、審議会に諮っていくことになるが、こちらの提案というのはその都度公開し、共有していきたいと考えているので、決定までには何度かご意見をいただく機会がある。</p> <p>審議会後、具体的に就学について説明する機会というのも春先に用意する予定である。</p>
保護者	<p>そうすると、この案をやめて今まで通りという考えはあまりないのか。</p>
教育委員会	<p>先ほどの説明のとおり、課題を解決しなければならないという前提があるため、課題の解決のための別の方策があればご意見いただければと思う。やはりこれだけ課題がある中で、課題解決のための方策を教育委員会として検討した結果として出しているものなので、この後ホームページ等で公開した上で何もなければ、このまま解決に向けて進めていくべきと考えている。</p>

## 吹上小学校の通学区域の変更に関する意見交換会

令和3年11月7日（日）  
13時30分から14時05分  
吹上小学校体育館にて

### ① 参加者（世帯）数

40世帯（榎戸1丁目、吹上本町1～5丁目、筑波1・2丁目／在校生）

### ② 出席者

齊藤教育部長 大島教育部参与 宮野教育部副部長 鳥沢教育総務課長  
教育総務課 新井・堀 学務課 石井・梶谷

### ③ 以下、質疑応答内容

保護者	<p>無計画でその場限りの提案と感じられる。友人関係が崩れる心配、近所の子どもや兄弟と同じ学校に通えなくなる可能性もある。吹上小学校は歴史がある学校なので、通学路の危険性は今言われ始めたことではなく、長らく言われていることなのではないか。それに対して、根本的な解決を図るのではなく、学区を変更して、危険個所を通学する児童を減らして、その場限りのような解決策はどうかと思う。そこに住んでいる人達の危険性は解決されないのであれば、根本的な解決につながらない。北新宿地区は、洲崎橋だけでなく、交通状況の整備がされていないように感じる。交通量のわりに、横断歩道やガードレール等の歩道状況が整備されていない。学区を変更する前にやるべきことがあるのではないか。</p> <p>適正配置等に関する考え方という資料の中で、吹上小学校の生徒数が大幅に減少が見込まれていると謳われているが、今回は、吹上小学校の教室数が足りなくなっていると説明している。この短期間で言っていることが真逆になっているのは、見込みが甘すぎるのではないだろうか。その時の現状で、子ども達が振り回されるようなことがあってはならない。</p> <p>大芦小学校や小谷小学校も人数は減っている。吹上小学校と下忍小学校だけでなく、吹上地域全体を見て、計画をたてるべきではないか。</p>
教育委員会	<p>洲崎橋については、解決に向けて何もしていなかった訳ではない。通学時間帯の交通規制や橋の架け替え等の要望や検討をしている。しかし、関係機関に認めてもらえないのが現状であり、教育委員会として子ども達の安全確保のために何ができるのかと考えたときに今回の提案をさせていただくこととなった。</p> <p>教育委員会が一方的に決定しているのではなく、様々な要望や意見をもとに提案しているものである。</p> <p>今日お集り頂いた方々には、対象となる地域・学校を限定的にお話しているが、</p>

	<p>小中学校の適正規模・適正配置というのは、大芦小学校や小谷小学校といった吹上地域の他の小学校を含めた鴻巣市全域を対象とした計画となる。</p>
保護者	<p>6年前は、吹上小学校と大芦小学校と小谷小学校で適正配置の計画が立てられていたが、ここに下忍小学校が入ってきたのはなぜか。</p>
教育委員会	<p>本日は、吹上小学校に通学するお子様の保護者を対象とした意見交換会であり、今回は、中学校区が吹上北中学校から吹上中学校になることへの意見の場である。</p> <p>全ての小学校の適正規模・適正配置については、今後の方針が決まり次第、広報等でお知らせし、改めてこのような場を用意したい。</p> <p>吹上北中学校から吹上中学校への学区変更について意見をいただきたい。</p>
保護者	<p>必ずしも同じ小学校から同じ中学校に進学しなくても良いのではないか。新しい出会いがあると思う。</p> <p>北新宿の児童が下忍小学校に移ることで、人数のバランスはどうなるのか。</p>
教育委員会	<p>各家庭により様々な意見があることは認識している。小中学校が同じではないことを気にしない家庭もちろんある。しかし、この地域に限らず、他の小学校でも、少ない人数で大人数の中学校に進学することへ抵抗があるという意見がある。教育委員会としては、同じ小学校から同じ中学校へ進学したほうが良いと考え、適正規模・適正配置に取り組んでいる。</p> <p>人数については、令和9年度までしか算出されていないが、推移としては、北新宿地区の学区を変更することで、吹上小学校、下忍小学校の両方で適正規模を保つことができる。また、吹上中学校と吹上北中学校でも同規模を維持できることが予想されている。</p>
保護者	<p>吹上北中学校に上の子が通っているが、中学校に進学する際に、友達と離れ離れになることを寂しいと話していた。また、歩道のないところを通学するため、暗くなると危険に感じる。そのため、今回の提案には賛成である。</p>

## 吹上小学校の通学区域の変更に関する意見交換会

令和3年11月7日（日）  
15時00分から15時30分  
吹上小学校体育館にて

### ① 参加者（世帯）数

20世帯（榎戸1丁目、吹上本町1～5丁目、筑波1・2丁目／未就学児）

### ② 出席者

齊藤教育部長 大島教育部参与 宮野教育部副部長 鳥沢教育総務課長  
教育総務課 新井・堀 学務課 石井

### ③ 以下、質疑応答内容

保護者	兄弟で別の学校に通うことにならないように配慮してほしい。
教育委員会	兄弟が別れるといったことはないと考えている。 上の子が中学校に進学する頃には、指定校が吹上北中学校から吹上中学校に変更となっている予定である。
保護者	今回の話は、急なものでびっくりしている。なぜ小学校の通学区域を見直さず、中学校の通学区域だけを見直すものとなっているのか。今日集まっている地域から、下忍小学校に近い地域は、下忍小学校から吹上北中学校に変更するような案はなかったのか。
教育委員会	資料1に書いてある様々な課題を解決するには、中学校のみを見直しすれば解決するものではない。 吹上地区全体を見て、適正配置等に取り組んでおり、その中の喫緊の課題として、洲崎橋の安全性の確保というものがあり、北新宿地区については吹上小学校から下忍小学校へ変更するといった提案をしており、筑波、吹上本町、榎戸一丁目については、中学校区を見直す提案となっている。 また、学区を見直すことで、吹上小学校と下忍小学校、吹上中学校と吹上北中学校の人数のバランスも保つことができるのではないかと考えている。
保護者	段階的という話ではあったが、今後小学校も対応になった際には体操着等に対

	<p>する負担はあるのか。</p>
教育委員会	<p>今はまだはっきりしたことはお伝え出来ないが、購入に対する補助が必要と判断した際は、予算要求をおこなっていく。</p>
保護者	<p>小学校の指定校が変更されてしまうと思ったのですが、中学校の指定校が吹上北中学校から吹上中学校に変更となるという理解でよろしいか。</p>
教育委員会	<p>おっしゃるとおり、小学校は変わらず、中学校の学区変更の提案である。</p>
保護者	<p>本日お話いただいた提案は、教育委員会からの、こうしていきたいという提案なのか、反対が出たら撤回されてしまうのか。</p>
教育委員会	<p>何事においても賛成、反対があることは認識している。</p> <p>教育委員会の提案に対して、全員が反対をしたら、もちろん考え直すことになると思う。しかし、多数決ではないので、賛成・反対があつたとしても説明をした上で進めることになる。</p>
保護者	<p>下忍小学校と吹上小学校を選択性にするような案はないのか。</p>
教育委員会	<p>選択制というのは市として考えていない。個々の家庭ごとではなく自治会等の単位で一つの小・中学校へ進学することを考えている。</p>
保護者	<p>今現状は、筑波、吹上本町、榎戸一丁目地区は吹上小学校の学区だが、下忍小学校の学区に変更となる可能性はあるのか。</p>
教育委員会	<p>可能性として0ではないが、現在は考えていない。</p>